

biz.comm.

人・まち・ビジネスを、まるごと学ぶ。
ビジネスコミュニケーション学科、
「ここがすごい！」&「ここを学んでほしい！」



中山 健 新学部長就任予定

全業種が
就職先になる。

本学部では、ビジネスの世界で必要となる経営学、経済学などの実学だけでなく、コミュニケーションに関わる基礎的能力・知識も習得できます。社会問題の解決に貢献するビジネス人材となった皆さんは、就職先を全業種としてとらえて希望する業種を探すことが可能です。

社会で働く先輩たちからメッセージ



黒澤 竜聖さん

越前市役所 市民協働課 主事

2018年3月卒業

市役所の仕事は、地域の人と直接話し、声を聞き、課題やアイデアと一緒に考えていくことの連続です。知識もちろん必要ですが、それ以上に直接人と関わっていく力がとても大切です。大学時代のゼミ活動で、越前市内の賑わい創出を狙った若者向けの「そばMAP制作プロジェクト」に取り組みました。地域に入り活動を展開することで、行動力や臨機応変な対応力を身につけることができました。今の仕事に繋がっているのは、こうした実践から得た学びです。

人と関わる力が、
地域を支える力になる



波多野 翼さん

衆議院議員

2007年3月卒業

政治は、生活に関わることですべてが対象となります。経済、社会、情報、言語などあらゆる知識が必要です。政治の世界だけでなく、この不透明な時代、あらゆる職業にとって、横断的な学びは欠かせないと思います。1つの仕事をしながら多方面から物事をとらえ、その視点をもって人とコミュニケーションをとり、社会に働きかけていくことが大切です。正直、自分ももう一度授業を受けたいと思うくらい、今の時代に必要な学びだと思います。

行動力とコミュニケーションで
社会を動かす力



上田 里沙さん

株式会社エル・ローズ 業務部

2020年3月卒業

社会では、学びや経験をベースとしたスキルが必要となります。計画を立て実行に移し、評価し改善する。一つひとつ問題解決をしていくことで次に繋がる。在学中に企業と連携し企画したファッションショーは、周りを巻き込みながら進めていく貴重な経験となりました。私の想いが伝わらず計画どおり進まないこともありましたが、情熱を持って関係者とのビジョンの共有や動機づけを続けやり遂げました。この時の経験は、今の私の仕事への向き合い方やマネジメントの原点です。

企画と実践での学びが、
私のビジネススタイルの原点

「学びたい」をクロス！異分野の60以上の授業で知的好奇心を深化させる

NEWS!
学部・学科を
超えた学び

ビジネス
コミュニケーション学科

心理学科	消費者の心理学、感情と性格の心理学、社会と集団の心理学、などの科目
健康栄養学科	食品の加工技術、生命科学、食文化、などの科目
子ども教育学科	保育学、子どもと食育、子どもと映像文化、などの科目

各学科が他学科生に開放する専門科目を履修することによって、大学卒業後のキャリアプランに合わせた独自の授業プログラムを組むことができます。

BUSINESS READY!!

情報技術の進化、経済の変化、そしてグローバル化が加速する今、社会には一つの視点だけでは解決できない課題が増えています。社会やビジネスの現場で“使える”力を獲得するために、本学科では経済・経営を軸に、英語・データ・観光・地域といった幅広い学びを組み合わせます。複雑化する社会課題に応え、未来に直結する実践力を身につけます。ここでは、その一端をご紹介します！

「好き」を組み合わせる多角的に学び、 社会の課題に応える実践的な力へ。

ビジネス × 英語

ビジネスを
勉強したい。
海外と関わる
仕事がしたい。

英語の学びをプラスし、
どんなビジネスにも強い人材になる

禿 寿 講師

加藤優子 教授

ビジネスに関する基本的な学びを進めると同時に、英語による交渉術や文書作成などの現場で求められる実践的なスキルと、国際的なマナーや異文化理解も学びます。グローバルな視点で物事を考え、地元企業の国際展開にも貢献できる確かな英語コミュニケーション力を身につけ、ビジネスの学びを進化させます。

地元の製造業で、
海外との取引や
輸出をサポート。
グローバル企業で
働き、英語で発信。

観光 × データ分析 (社会調査)

福井のいいところを、
たくさんの人に
知ってほしい。

福井の価値を最大限に引き出す観光戦略

寺田憲弘 准教授

織田暁子 准教授

観光の分野で社会調査の技法を活かすことで、地域の魅力をデータに基づいて分析し、“見える化”。より説得力ある観光戦略を立てる力が身につきます。現地でのフィールドワークやデータ分析を通して観光客のニーズを把握し、魅力あるツアープランや情報発信にも応用できます。感覚だけに頼らず、根拠ある発信力で福井の価値を最大限に引き出す実践を学びます。

観光地域づくり法人で、
観光マーケティング。
宿泊・観光施設で、
地域の魅力を届ける
現場へ。

コミュニティ・ マネジメント × フィールドワーク (社会調査)

地域を活性化したい。
人やまちを支える
仕事がしたい。

地域資源に光をあて、
地域の価値を高める

升田法継 准教授

井上 寛 准教授

高齢化や人口減少、過疎化など、地域が抱える課題に向き合うためには、まず地域の声を“聴く”ことが大切です。アンケートやフィールドワークを通じて地域の実情を直接聞き取り、地域のニーズを共有することで、必要なアイデアを地域の人たちと一緒にカタチにしていきます。耳を傾けることから始まる実践が、福井の未来をつくる力になります。

地域ニーズに応え、
まちづくりを推進する
行政職や地域密着型企業。
商品開発、イベント企画や
マネジメントを担う。